

# 国庫補助事業の実績に係る 評価について

- 1) 産地生産基盤パワーアップ事業
- 2) 農畜産物輸出拡大施設整備事業

## <対策のポイント>

収益力強化に計画的に取り組む産地に対し、**農業者等が行う高性能な機械・施設の導入や栽培体系の転換等**に対して総合的に支援します。  
 食品関連等の事業者と農業者が協働で行う取組の促進等により**海外や加工・業務用等の新市場を安定的に獲得していくための拠点整備、全国産地の生産基盤の強化・継承、堆肥の活用による全国的な土づくり等**を支援します。

## <政策目標>

青果物、花き、茶の輸出額について、ポスト1兆円目標を達成  
 品質向上や高付加価値化等により販売額を10%以上向上  
 産地における生産資源（ハウス・園地等）の維持・継承 等

## <事業の内容>

## <事業イメージ>

### 1. 新市場獲得対策

#### ① 新市場の核となる拠点事業者の育成

新市場のロット・品質に対応できる拠点事業者の育成のため、貯蔵・加工・物流等拠点施設等の整備、生育予測技術や品質保持技術の実証・導入等を支援

#### ② 拠点事業者と連携した産地の生産・出荷体制の強化

拠点事業者と連携する産地が行う、輸出拡大を図るために必要な生産・出荷体制の整備、作柄安定技術や作期拡大技術、生産工程管理手法の実証・導入等を支援

#### ③ 新市場対応を支える物流体制の革新

広域間の物流を大幅に効率化するための共通ルール・体制の構築に必要な統一規格パレット等と関連機材の導入、管理体制構築に対して支援

### 2. 収益性向上対策

収益力強化に計画的に取り組む産地に対し、計画の実現に必要な農業機械の導入、集出荷施設等の整備に係る経費等を総合的に支援

### 3. 生産基盤強化対策

#### ① 生産基盤の強化・継承

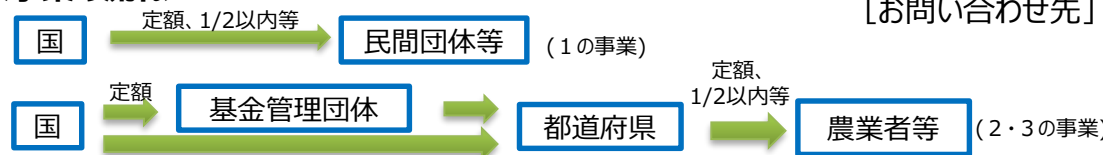
農業用ハウスや果樹園・茶園等の生産基盤を次世代に円滑に引き継ぐための再整備・改修、継承ニーズのマッチング等を支援

#### ② 全国的な土づくりの展開

全国的な土づくりの展開を図るため、牛ふん堆肥等を実証的に活用する取組を支援



## <事業の流れ>



【お問い合わせ先】

(1 ①、2の事業)	生産局総務課生産推進室	(03-3502-5945)
(1 ②、3 ①の事業)	生産局園芸作物課	(03-6744-2113)
(1 ③の事業)	食料産業局食品流通課	(03-3502-5741)
(3 ②の事業)	生産局農業環境対策課	(03-3593-6495)

## 平成 29 年度産地パワーアップ事業 計画の概要

市町名	地区名	事業主体	事業実施期間
観音寺市	豊南地区	香川県農業協同組合	平成 29 年度

### 事業計画の概要

#### (課題)

豊南地区大野原集荷場では、平成 10 年度に選果・包装ラインを整備し、収穫後の出荷調整作業支援に取り組んできた。近年、農業法人等の担い手によるレタスの作付面積の拡大と共に出荷調整作業支援の利用拡大が進み、出荷のピーク時には、既存の集荷場の処理能力を上回るため、荷受量の制限を課していた。これにより、とり遅れによりレタスの品質低下や圃場廃棄が発生し、所得が下がる問題が生じている。

現状の選果・包装ラインは、形状だけにより規格を判別するため、等階級区分に応じた重量判別は人的な補完を要しており、製品の品質にばらつきが出ている。

#### (事業内容)

レタスの集出荷貯蔵施設を整備し、支援部門の処理能力強化や、選別精度の向上、荷受量に応じた予冷庫の整備等を行う。これにより、ピーク時の出荷制限を解消し、等階級の測定精度を向上させ、品質の向上・安定化や作付面積の拡大が図られ、レタス産地としての競争力の強化と地域農業の継続的な発展が期待される。

### 施設整備計画

整備内容	受益面積 (h a)	受益戸数 (戸)	事業費 (円)	助成金 (円)	事業の内容
レタス 集出荷貯蔵施設	作付実面積 206.9 うち 受益実面積 42.3	作付戸数 295 うち 受益戸数 34	481,896,000	221,712,000	集出荷貯蔵施設 建物 1,196.9 m <sup>2</sup> 原料置場 197.4 m <sup>2</sup> 選果・包装ライン 4ライン 予冷庫 247.4 m <sup>2</sup>

### 期待される効果の概要

項 目	H27 年度 (現状値)	H30 年度 (実績値)	R 元(H31)年度 (実績値)	R 元(H31)年度 (目標値)	概 要
10a 当たりの販売額 (単位：円/10a)	703,813	561,931	671,706*	780,499	10a 当たり販売額の 10%以上の増加

※ 平成 30 年産は、全国的な豊作に伴って 11 月から 2 月までの販売単価が大幅な安値となった。このことから、令和元年度は、生産者数・生産面積が大きく減少した。令和元年度は、今まで以上に販売に力を入れて販売単価を回復させたが、目標値を達成することはできなかった。

今後は、各種支援施策を活用して産地の生産力の立て直しを図るとともに、販売力の強化（取引市場との連携強化、事前商談・契約的取引の強化など）に取り組むこととなっており、適切な実施となるよう、県としても、当該取組みを支援していく。

平成 29 年度産地パワーアップ事業導入施設・機器



建物の外観



原料置場



予冷库 外観



選別設備（重量・外観センサー）



選別設備（搬送コンベア・バケット）



選別設備（包装機）



県産野菜のイメージアップ、消費拡大に向けた取組

**「香川県産野菜  
イメージキャラクター」  
募集!!** 最優秀作品  
賞金 **30万円**

生産者が鮮度と品質にこだわって作った  
**香川県産野菜の  
イメージキャラクターを募集します!**

応募期間 **令和2年 7月13日(月)～令和2年 8月31日(月)まで**

香川県では、温暖な気候と恵まれた土地の下、レタスやブロッコリーのような  
全国に誇れる品目や、アスパラガス「さぬきのめざめ」のような特色のある  
オリジナル品種など、多彩な野菜が栽培されています。  
そこで、香川県産野菜に親しみを感じ、イメージアップと認知度向上につながるよう、  
鮮度こだわり、品質の高い香川県産野菜がイメージできるキャラクターを募集します。

主催：香川県・かがわ農産物流通消費推進協議会 **うどん県**

詳しい募集内容については裏面をご覧ください。

**かがわ** 旬のイチオシ!  
**農産物フェア**  
Kagawa Crops Fair

**PCLレインボー店 12/14(土)開催!**

イベント 1 **野菜ソムリエによる  
旬のイチオシ農産物の  
魅力をお伝えします**

時間 1回目 11:00～ 2回目 13:00～  
3回目 15:00～

イベント 2 **試食会開催!** 旬を味わおう!  
おいしさ体験!!

**ロメインレタス、さぬきキウイこ®、香緑の試食**

時間 **11:00～予定** ロメインレタス生産者によるPR 16:00～、17:00～

※時間により実施できない場合がございます。※無くなり次第終了致します。  
天候により商品入荷が無い場合がございます。その際は変更・中止となりますのでご了承くださいませ。



## <対策のポイント>

国産農畜産物の輸出の拡大に必要な**集出荷貯蔵施設、加工処理施設等の産地基幹施設**や**コールドチェーン対応卸売市場施設**等の整備を支援します。

## <政策目標>

農林水産物・食品の輸出額の拡大（2020年以降のポスト1兆円目標）

### <事業の内容>

### <事業イメージ>

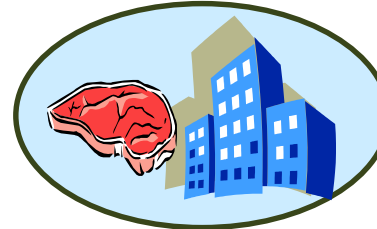
#### 1. 輸出対応型施設の整備

「強い農林水産業」の構築に向け、国産農畜産物の輸出促進の取組に必要なとなる輸出対応型の集出荷貯蔵施設や加工処理施設等の整備を支援します。

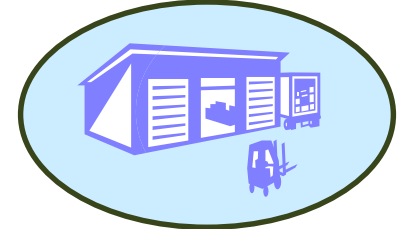
#### 2. 輸出促進に繋がる卸売市場等の整備

生鮮食料品等の輸出促進を図るため、輸出先国までの一貫したコールドチェーンシステムの確保に資する施設や輸出先国が求める衛生基準等を満たす施設等の整備を支援します。

#### HACCP等輸出対応食肉施設



#### CA貯蔵施設



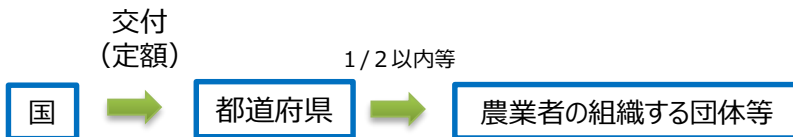
〔米国、EU等は牛肉施設について HACCP対応を要求〕 〔輸出先国の需要時期に合わせた供給を可能とする青果物の長期保存体制を構築〕

#### コールドチェーン対応卸売市場施設



〔高度に温度管理された施設を整備することで、輸出先国までの一貫したコールドチェーンシステムの確保〕

## <事業の流れ>



【お問い合わせ先】 (1の事業) 生産局総務課生産推進室 (03-3502-5945)

(2の事業) 食料産業局食品流通課 (03-6744-2059)



## 平成 30 年度農畜産物輸出拡大施設整備事業実績の概要

市町名	地区名	事業主体	事業実施期間
さぬき市	津田地区	株式会社 A	平成 30 年度

### 事業計画の概要

#### (課題)

海外では、健康志向の高まりにより日本食がブームとなり、日本産米の需要が増加している。日本産米は高価格帯で取引されていることから、品質の高さが求められている。

株式会社 A は、HACCP 認証を取得し、安全な米の輸出に取り組んでいるが、出荷形態についてはほとんどが精米(白米)の状態であり、精米後 1 ヶ月以上を要して実需者に届く状況のなか、品質の低下が問題となっている。

#### (計画内容)

真空包装機の導入、選別機能の強化により、安全安心に加えて高品質な商品の提供を行う。また、簡易に利用することができる無洗米商品や、健康食として注目されている玄米商品等を強化し、付加価値のある商品開発に取り組むことで、販路拡大を図る。

### 施設整備計画

整備内容	事業費 (円)	交付金 (円)	事業の内容
農産物処理加工施設 (精米施設) の整備	68,017,967	31,489,000	選別ライン一式 全自動真空整形装置 2 台 洗浄排水設備一式

### 期待される効果の概要 (年度の考え方：前年 11/1～当年 10/31)

項 目	H29 年度		H30 年度		R 元		R 4 年度		概 要
	(現状値)	(実績値)	(H31) 年度 (実績値)	R 2 年度 (実績値)	R 3 年度 (実績値)	R 4 年度 (実績値)	R 4 年度 (目標値)		
輸出向け出荷量の増加	77.97t	5.70t	8.98t	—	—	—	400t	輸出向け出荷量 413 ポイント増	
輸出相手国 (地域)の増加	<u>3 カ国</u>	<u>1 カ国</u>	<u>1 カ国</u>	—	—	—	9 カ国 ※	輸出相手国 新たに 6 カ国開拓	

※：9 カ国 (アメリカ、カナダ、インドネシア、UAE、香港、台湾、マカオ、シンガポール、オーストラリア)

○平成 31 年 3 月に施設整備が完了し、今年度から本格的に稼働。

○価格競争力の面から、輸出量及び輸出先国の増加が伸び悩んでいるが、令和元年度から県内農業者等と連携し、輸出先国の求める品種・品質・価格の米穀の確保に必要な試験栽培を開始している。新型コロナウイルス感染症のため、厳しい状況が続いているが、令和 2 年度においては、7 月末時点で約 70t の輸出実績があり、今後追加の輸出も見込まれている。

## 平成 30 年度農畜産物輸出拡大施設整備事業導入機器



色彩選別機

(白米・玄米をフルカラーカメラでチェックし、着色粒や雑草種子等の異物を除去する。)



白米精選機

(網目の大きさが違う“ふるい網”3層により、精米した白米を「整粒」、「砕粒」、「糠玉」、「糠」に選別する。)



全自動真空整形装置

(包装済み米袋を振動整形・密閉脱気し、真空包装のパックを作成する。密閉脱気により、空気の混入による品質低下を抑制する。)